健診について

最終チェック

検査の目的	・全ての検査が完了しているかを確認する。 ・健診終了後の受診票を回収し、ｱﾝｹｰﾄへの記入をお願いする。 ・止血ベルトをはずす。（腫れや痛みがないか要確認）
使用機材及び備品	筆記用具・クリップ 胃部ﾚﾝﾄｹﾞﾝ有りの場合→水・紙コップ
取扱いの注意	・水、紙コップは清潔に保つ ・ｱﾝｹｰﾄ用紙、筆記用具を準備する。 ・胃部ﾚﾝﾄｹﾞﾝがある場合は、水・紙コップ・紙コップ捨てのゴミ袋、 ｳｴｯﾄﾃｨｯｼｭ、鏡を用意する。 ・『最終チェック』と『ご確認ください～』と『アンケート～』の看板を受診者が 見やすい位置に掲示する。 （当日胃部レントゲンがあった場合は『胃部レントゲンを受診された方へ～』 の看板も掲示する。）
始業確認	特になし
検査の手順・ ﾁｪｯｸ項目	・ データが前回と大きく異なった場合、疑問を持ち再測定をする。 →未検査のものがあれば案内する。 ②採血をしてから5分位たっているかを確認した後、止血バンドをはずす。 ※その際、受診者自身に採血部を軽く触ってもらい、痛み・しびれなどが ないかを確認。 →もし痛みがある場合は、直ちに実施責任者に連絡し、ドクターに 診てもらう。 ③胃部ﾚﾝﾄｹﾞﾝがある場合は、紙コップ・水を用意しておき、下剤を飲んで もらうようにすすめる（通常は2錠飲んでもらう） ※水は受診者が自分で汲むようにする。 ④アンケートに当日の健診を受けての感想を受診者に書いてもらう。
記録方法	・全ての検査を受けているかを確認した後、受診票最下部欄に 担当印を押す。 ・欠の検査項目があった場合は、”項目別受診欠一覧表”に受診番号を 記入する。
受診者への対応	・未検査の場所に案内する際は、検査場所をわかりやすく説明する。 ・『お疲れ様でした』と挨拶をする。

コース変更時の処置	・受診票の”コース・追加検査”欄に記載されている検査項目が手書きで 変更されている場合などは、その検査が終わっているかを特に注意する。
その他留意点	※受診漏れがないように細心の注意を払って受診票をチェックする。 ・当日の実施で検査もれの発生しやすい検査（一つの検査のみ別室で行う 場合や、診察、レントゲンなど）は、特にその項目を注意して確認する。 ・担当印が押していない場合で、心電図のように担当印のみで検査が 終わっているか判別しなければいけない場合は、必ず受診者に その場に残ってもらい検査担当者に確認する。 （視力などのように数値が記入されているものに関しては、後で 検査担当者に確認する） ・アンケートは強制ではないので、無理には勧めない。 ・視力検査は、裸眼か矯正のどちらかのみが記入されているかを確認する。 両方記入がある場合は、裸眼の数値を二重線で消す。
トラブル時の対応	以下のような場合は直ちに実施責任者に報告してください。 ・受診者が受診票を持って帰ってしまった ・受診していない項目があるのだが、受診者が帰ってしまった ・採血した部分に、痛み・しびれ・腫れなどがある。
よくある質問	Q：（胃のﾚﾝﾄｹﾞﾝをした場合）下剤はどの位で効くの？ A：個人差はありますが、だいたい4時間位で効果がでる事が多いです。 Q：採血したところが痛い、またはしびれや腫れがある A：「担当のものを呼んでまいりますので、申し訳ございませんが 少々お待ちいただけますでしょうか」と断って、すぐに実施責任者に 連絡する。 Q：結果はいつぐらいにわかるの？ A：約2週間後になります。
混雑時の対応	・並んでいる状態でも、受診もれがないかのチェック、採血部のチェックは 必ず丁寧に行う。